

## 露地ナスへ天敵資材導入

山鹿市の鹿本農協鹿北町茄子部会では、良質な露地ナスを栽培する部会として、市場から高い評価が得られています。しかし、アザミウマ類を主とする微小害虫による果実への食害が発生していて、このことにより農薬散布回数の増加が問題となっています。

部会では、この問題を解決するため、生物農薬である天敵を定着・増殖させ、微小害虫の防除に活用させる方法を、試験的に導入してきました。天敵資材スワルスキー（有効成分：スワルスキーカブリダニ）が、平成27年5月に露地野菜へ使用登録適用拡大されたことから、この資材に注目して、平成27年から露地ナスへ導入する展示ほを設定し、より効果的な病虫害防除方法を検討しました。

天敵資材導入を行った結果、アザミウマ類増加が抑えられ、化学農薬の使用回数が減少しました。非常に高い導入効果が確認された一方で、8月25日の台風被害により、ナス栽培に大きな被害が出たことから、9月以降の効果については不明となりました。

そこで、部会では、平成28年度も展示ほ調査を実施し、天敵資材導入効果を継続して検証することで、化学合成農薬使用を減らす環境保全型農業への取り組みを推進しています。



天敵資材導入状況



天敵資材を導入したナス